

平成30年度版 事業所向け 放課後等デイサービス自己評価表(ギフトド南二軒屋)

		チェック項目	はい	どちらでもとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			
	2	職員の配置数は適切であるか	○			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか			○	施設入り口が2階であるため、介助が必要な児や、配慮が必要な保護者（妊婦等）は職員が対応し配慮している。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			日々のミーティングで連絡や業務改善シートの作成などグループ全体で取り組んでいる。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			会報とともに2か月に1回配布。玄関先に意見箱も設置。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページで公表している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		現在はコンサルタント業務の方の介入があり、まだ評価は未実施であるが、改善へ努めている。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			グループ全体での研修会や、月によって頻度が変わるが1～4回程度の勉強会を事業所内で実施している。外部研修への参加も推奨し勤務調整を調整している。
適切 な 支 援 の 提 供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			毎回保護者へのフィードバックを行い、ご要望やご意見を頂いている。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		当施設では実施していない。外部施設で実施されたアセスメントツールの結果を保護者同意のもと写しを頂いている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			個別プログラムであるが、保護者のニーズを踏まえて毎回の活動内容をチームで話し合っている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		○		利用時間や課題量、同時間帯に利用の利用児の年齢や性別、特性を踏まえて設定を考えている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			保護者や本人のニーズを踏まえて作成をしている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			平日は朝礼時に、休日前や長期休暇中は終礼時に主に行っている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			平日は朝礼時に、休日前や長期休暇中は終礼時に主に行っている。

17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			記録を残し、様々な職種の職員が関わる事で支援について意見交換を行っている。
----	--	---	--	--	---------------------------------------

18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	○		
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○		必要に応じて保護者と連携をとり、同意のもとで学校との情報共有を行っている。担任教諭等との見学・相談、支援見学も実施している。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○		
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○	児童発達支援事業所との情報共有は行ったことがあるが、幼稚園等との連携は児童発達支援事業を利用していた児のみとなっているため今後努めていく。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○	現在は卒業者がいない。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○		施設内外のイベントで年1～2回程度。（クリスマス会、映画鑑賞会、地引網体験等への友人や兄弟児、地域住民方々の参加）
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか			○
保護者への説明	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		毎回のフィードバックで行っている。面談や電話連絡をする場合もある。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○		ご家庭で出来るトレーニング方法や問題行動への対応方法などをお伝えしている。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		
31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			フィードバック時、電話、面談等で個別相談を行っている。相談内容に応じて資格者が対応している。

責 任 等	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			ランチ会を実施。同年齢層の児を持つ保護者や先輩となる保護者と意見交換や相談ができる場となるようにした。保護者同士でつながりが出来る方もおられた。
-------------	----	---	---	--	--	--

非 常 時 等 の 対 応	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			迅速に対応している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			お便り(ギフトド・トレラレポート)で告知、報告をしている。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			口頭で伝わりにくい場合は文面にてお渡ししたり、動画撮影をしたものをお見せするなどをしている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			イベント等で施設を地域の方へ開放している。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		保護者には玄関先に置き、ご案内はしているが全員に周知できていない。職員には研修や訓練を実施。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			○	アセスメントにて保護者からお伺いしたアレルギーに対し一覧を作成し、おやつ提供時に配慮するようにしている。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか			○	事例集の作成はないが、実際に起こったヒヤリハット・事故報告書を作成。ミーティング時に共有につとめている。	